

平成28年度



赤木小だより

平成28年10月20日 No.18 文責 校長 鈴木 久

《教育目標》

『豊かな心と総合的な学力を身につけた、たくましい児童の育成』
あ 明るいあいさつをする子ども
か 考えをもって学び合う子ども
ぎ 気持ちよく運動する子ども

授業で輝く子どもたち、磨き合う子どもたち！

本校では「共に育つ」研究主題のもと、学び合いから生まれるアクティブラーニング（主体的かつ協働的学習）をめざした授業づくりを追究しております。

子どもたちが、学びの対象（人・もの・こと）とじっくり向き合い、自らの問いや目標を見出し、これまで習得した力（知識・技能、思考・表現力など）を発揮して自力解決できる子ども、そして、学びとった力を仲間とともに学び合い、磨き合いながら、より確かな理解、深まりや広がりのある理解へと高まることのできる子どもを育てていきたいと考えております。

そのための具体的な手立てとしては、「焦点化する（学びどころを精選・焦点化する）」「共有化する（つなげるコーディネートを行う）」「可視化する（見えないものを見えるようにする）」ことを実際の授業のなかで重視していきたいと考えております。

5年1組 算数「きまりを見つけて」図や表と関連させながら「いつでも使える式」を作る



自力解決を促す



考えを出し合う



考えをつなげる

2年1組 算数「かけ算1」 操作活動をとおして「かけ算」の意味の理解を深める

考えを出し合う



考えを把握する



考えを見えるようにする



焦点化されたものを考える



5年1組の「きまりをみつけて」の授業では、マッチ棒でできる図形の数とマッチ棒の本数との関係性から子どもなりの「きまり」を見出し、図や関数表と関連付けながら、一般化された式（授業では最強の式）の意味について説明することができました。

また、2年1組の「かけ算」の授業では、具体的な場面でおはじきを使ってかけ算の意味（ずつの数がいくつあるか）を理解し、友だち同士でかけ算の問題を出し合うことができました。

子どもたちは、「対象（問題や教材）」や「仲間（学級の友だち）」と十分対話し、学びにどっぷり浸っています。そして、その学びをもとにつきの一步を踏み出しています。「対象」に魅力を感じ、課題解決に向けた取り組みを「仲間」とともに成し遂げる楽しさは、子ども自身のさらなる学びへと発展させます。

今、赤木小学校の子どもたちは、その過程の途上にあります。保護者のみなさま、本校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

「赤木の日」のご案内 10月29日（土）8：30～11：00

子どもたちの学習の成果を発表します！ ご家族でおこしてください！

1年 {たのしい あき いっぱい} 2年「みんなで あそぼう」

3年「郡山の案内人になろう・ダンス」4年「安積開拓」

5年「Japanese Pride」6年「ルーツを探り未来へ動く」

◆8：30から学年毎のPR・特設合奏部による演奏もあります。

◆11：30から引き渡し訓練がありますのでご協力をお願いいたします。